

## 震災対策技術展(神戸会場)出展レポート

IAA Alliance 事務局

1. 日時 : 2006 年 1 月 17 日(火) 10:00 -17:00  
2006 年 1 月 18 日(水) 10:00 -17:00

2. 参加者 :

NICT 海老名

みずほ情報総研 竹下

3. 場所 :

神戸国際展示場(神戸ポートアイランド)

4. 報告

独立行政法人情報通信研究機構は第 10 回震災対策技術展(神戸会場)にブースを出展し、IAA Alliance は展示の支援を行った。ブースでの展示としては、IAA システムのビデオ上映のほか、IAA システムのデモなどであった。インターネット回線は、事務局のご厚意により無線 LAN を借りることができた。

総来場者数は 2 日間で 1953 名であった。総来場者のうち、IAA Alliance のブースに立ち寄ってくださった方は、2 日間で 300 名程度であった。来場者にはパンフレット類、ノベルティ等を配布した。ブースに立ち寄られた方の比率は、一般企業の方、防災ボランティア団体の方、一般の方が多かった。

前回の第 9 回震災対策技術展(神戸会場)に比べると、同時開催の国際会議などがなかったこともあり、比較的参加者が少なかったことが特徴である。

下記のような質疑応答があった。

Q : 料金はいくらかかるのか ?

A : 今のところ無料です。

Q : 携帯でも使えるのか ?

A : 使えます。



ブースの風景



説明風景

以上

## 震災対策技術展(横浜会場)出展レポート

IAA Alliance 事務局

1. 日時：2006年2月2日(木) 10:00-17:00  
2006年2月3日(金) 10:00-17:00

2. 参加者：

NICT 伊藤, 海老名  
東京大学 中山  
サン・マイクロシステムズ 佐藤  
みずほ情報総研 能瀬, 竹下

3. 場所：

横浜国際平和会議場(パシフィコ横浜)展示ホール

4. 報告

IAA Alliance は独立行政法人情報通信研究機構と共同で、第10回震災対策技術展(横浜会場)に出展した。IAA システムのビデオ上映のほか、IAA システムのデモ、PDA の展示などを行った。第9回震災対策技術展(神戸会場)出展時よりも、被災者情報を確認するシステムに興味のある組織や個人が増えていた。IAA システムのブースには、今までにないほど沢山の方が、出展ブースに立ち寄っていただいた。

来場者数は2日間で約9,000名であった。IAA Alliance のブースに立ち寄ってくださった方は、1日目で1,000名程度であった。また2日目は、600名程度であった。

パンフレット類、ノベルティは全て配布し、追加コピーしたパンフレットを配布した。ブースに立ち寄られた方は、地区の代表、防災ボランティア団体、安否システムを製作している人(組織)、報道、自治体、一般が多かった。

なお、2月2日(木)の11:00~11:45に、併設講演会場にて緊急対応ワーキンググループリーダーの大野浩之氏と外部戦略ワーキンググループリーダーの佐藤正晃氏による講演会が、「被災者安否情報確認システム(IAAシステム)の活用事例と自治体への展開~NICTにおける研究開発成果の展開~」という題名で開催された。



展示風景 1



展示風景 2

## 5. 反省点

来場者数が予想以上であったため、パンフレットが不足した。予想を超える来場者があったためだが、不足することのないように、次回の準備は気をつけたい。

以上